社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和08年10月07日

計画の名称	横須賀市みどりの保全及び創出事業（第３期）													
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度　(5年間)									重点配分対象の該当				
交付対象	横須賀市													
計画の目標	近年、多様な生物が生息・生育・繁殖することができる豊かな自然環境を再生し、保全することの重要性が高まっているとともに、さらにその自然環境やみどりを活用し、人々が快適で豊かに生活できる都市づくりが求められています。 本整備計画では「横須賀市みどりの基本計画」の基本理念である「人と自然が共生し『みどりに親しめるまち横須賀』を育み、未来へ引き継ぐ」を実現するため、本計画を改定します。 新規のみどりの基本計画では、グリーンインフラを推進して都市緑地の機能を高めるとともに、まとまりのあるみどりを保全し、生物多様性の向上を図ります。 なお、緑地保全にあたっては，近郊緑地特別保全地区などの都市林において、これまでの凍結的な保全により荒廃が進んだ樹林地を本来あるべき姿とするため、機能維持増進を進めるべく緑地整備計画を策定し整備事業に取り組みます。 （機能維持増進事業の概要）１．緑地の現状と目標：人家に隣接する市有斜面緑地は倒木リスクがあります。危険木伐採等の緑地整備を行うことで安全性を向上させ、温室効果ガス吸収源機能の確保を図ります。 ２．整備内容：市有緑地内の択伐・危険木の伐採を行います。３．伐採木の活用方針：バイオマス等の利活用の検討を図ります。４．目標植生：林床に光が入り多様な生物相を育む植生へ転換を図ります。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	230	A	230	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R3当初)	(R5末)	(R7末)
1	首都圏近郊緑地特別保全地区等における建築行為等の不許可にょる土地の買入を実施する。【57.5%（R2末）⇒61.4%（R7末）】			
	首都圏近郊緑地特別保全地区等における建築行為等の不許可による土地の買入面積を集計する。 買入面積÷首都圏近郊緑地特別保全地区面積×100（２地区：244ha）	58%	60%	61%
2	近郊緑地特別保全地区等の緑地整備計画の策定率を増加させる。【計画対象都市林・都市緑地：0%（R2末）⇒100%（R7末）】			
	近郊緑地特別保全地区等の緑地整備計画の策定率を増加させる。 計画対象都市林・都市緑地数÷横須賀市内都市林・都市緑地数(市内都市林・都市緑地数：119箇所)	0%	%	100%
3	首都圏近郊緑地特別保全地区内の整備事業を進めることで、温室効果ガス吸収機能を高めるなどの機能維持増進にも努めていく。【固定吸収が期待される二酸化炭素増加量：0%（R2末）⇒100%（R7末）】			
	緑地整備を行った箇所面積を計測し、固定吸収が期待される二酸化炭素増加量を求める。 緑地整備により固定・吸収される二酸化炭素増加量／対象箇所全体の緑地整備により固定・吸収される二酸化炭素増加量(年間341kg増加)	0%	%	100%
4	新たに策定するみどりの基本計画の計画対象面積を増加させる【新計画対象面積：0%（R2末）⇒100%（R7末）】			
	新たに策定するみどりの基本計画の計画対象面積を増加させる 新計画策定対象面積/横須賀市の面積	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000779945

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	横須賀市	直接	横須賀市	－	－	横須賀市緑地保全等事業	土地の買入等（2地区、9.4ha）、緑地整備	横須賀市	■	■	■	■	■	206		－
	A12-002	公園	一般	横須賀市	直接	横須賀市	－	－	横須賀市公園事業特定計画調査	横須賀市みどりの基本計画改定	横須賀市	■	■	■	■	■	15		－
	A12-003	公園	一般	横須賀市	直接	横須賀市	－	－	横須賀市公園事業特定計画調査	近郊緑地特別保全地区等の緑地整備計画	横須賀市				■		9		－
											小計						230		
											合計						230		

案件番号： 0000779945

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて評価を実施	令和８年３月
	公表の方法
	横須賀市ホームページにて掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	R7末の実績は、買入の進捗率が60.7%（目標61.4%）と目標にわずかに届かなかったものの、R2末57.5%からは着実に向上した。これにより、首都圏近郊緑地特別保全地区等における緑地保全の取組は一定程度進展している。 あわせて、近郊緑地特別保全地区等の緑地整備計画の策定率および新たなみどりの基本計画の計画対象面積は、ともに実績100%となり目標を達成した。 さらに、特別保全地区内の整備事業の推進により、固定吸収が期待される二酸化炭素増加量は実績444%となり、温室効果ガス吸収機能の維持増進に大きく寄与した。 以上より、計画策定等の基盤整備と、保全・整備の実施が一体となって進み、緑地の多面的機能の確保に向けた効果が発現している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、土地の買入により緑地保全を図るとともに、買入れた緑地において機能維持増進事業を実施し、温室効果ガス吸収機能の向上等、緑地の多面的機能の維持増進を進めていく。
また、買入の進捗については、権利調整等の状況を踏まえ、計画的な取得に取り組む。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	近郊緑地特別保全地区内の土地の買入		
	最　終 目標値	61%	
	最　終 実績値	61%	
2	近郊緑地特別保全地区等における緑地整備計画の策定		
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	
3	近郊緑地特別保全地区内の整備によるCO2吸収量の増加		
	最　終 目標値	100%	現地条件をふまえた施工方法の最適化により、伐採・整備の実施量を増やすことができ、CO2吸収量が目標を上回った。【CO2吸収量算定式】3.41(t/ha・年)×整備面積(ha)　【目標値】3.41(t/ha・年)×0.100(ha)×2ヶ年＝0.682(t)　682(kg)　【実績値】3.41(t/ha・年)×0.888(ha)＝3.028(t)　3,028(kg)
	最　終 実績値	444%	
4	みどりの基本計画の策定		
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	

案件番号：0000779945